

〈2025年〉姉妹都市締結50周年に向けて両市の絆を深化
久留米市職員が
豪雨災害復旧状況についての御報告と
姉妹都市締結50周年に向けた意見交換のため
本市を表敬訪問されます



ターゲット 17.16, 17.17

2023年11月10日
郡山市文化スポーツ部
国際政策課
課長 石井 章浩
TEL: 924-3718

SDGs ターゲット 17.16 「持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する」

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

本市の姉妹都市である久留米市の職員6名が、久留米市における今年7月の豪雨災害の復旧状況の御報告と姉妹都市締結50周年に向けた意見交換を行うため、市長を表敬訪問します。

- 1 日時 11月17日(金) 午後1時30分～午後1時50分
- 2 場所 郡山市役所 庁議室(本庁舎2階)
- 3 訪問者 久留米市 総合政策部

理事兼都市づくり推進担当部長 横溝 龍也 様

都市建設部都市計画課

課長 秦 雄司 様

総務部人材育成室

室長 中山 雅代 様

技術主査 高尾 健二 様

総務部総務課

課長補佐 諸岡 琢司 様

主任主事 関口 元 様

- 4 対応 郡山市長 農林部長 建設部長 都市構想部長

〈本市の姉妹都市・久留米市 ～安積開拓が取り持つ縁で姉妹都市を締結～〉

明治4年、明治政府の廃藩置県により、多くの武士が失業したことで、政府はその旧士族救済策として、各地への入植を勧めるようになりました。

明治11年11月、国営安積開墾の第一陣として入植したのが開拓者精神豊かな旧久留米藩士でした。安積開拓には、旧久留米藩士族のほかに、8藩の士族が入植しましたが、中でも移住戸数141戸585人と最も多かったのは、久留米の士族でした。

入植した藩士は、刀を鋤に持ちかえて、血と汗を流しながら安積の大地の開墾をはじめました。今日の郡山市の発展の礎となった安積開拓は、旧久留米藩士族の筆舌に尽くせぬ努力と開拓者精神が大きな役割を果たしました。この安積開拓が取り持つ縁で、昭和50年8月3日、姉妹都市の締結が行われ、現在では毎年、小中学生による「青少年親善交流事業」が実施されるなど、交流を深めています。

久留米市は、2025(令和7)年8月3日に、本市との姉妹都市締結50周年を迎えます。



2024(令和6)年に郡山市は市制施行100周年を迎えます!!

ひらけ 未来へ こおりやま